

「学びの環境」を通じた地域間交流促進事業委託業務  
公募型プロポーザル審査結果について

1 審査

以下の日程で審査委員会を開催し、参加申込・企画提案書の提出があった1者について、プレゼンテーションと質疑応答を実施した。

- ・日時 令和4年7月26日（火）10時00分から11時30分
- ・場所 土佐町役場 本庁2階会議室

2 審査項目及び配点

(1) 基本的な考え方	15点
(2) 業務実施方針	10点
(3) 業務内容	40点
(4) 実施体制	15点
(5) スケジュール	15点
(6) 実施経費	5点

計 500点  
(審査委員1名当たり100点×5名)

3 審査方法

プレゼンテーション及び質疑応答に基づいて各審査委員が審査（採点）を行った後、審査委員全員の採点を合計し、候補者を選定した。

4 審査結果

	参加者名	総得点
候補者	タクトピア株式会社	366点

○候補者に対する審査委員の主な意見

- ・町として「ふるさと教育」を重視している。都市部と土佐町の交流を通じて双方の認識の交換を行うことは、地域への愛着を高める上でも意義がある。今回の提案についても実施方針等関連すると思うので留意されたい。
- ・スケジュールについて、オンラインを入れることで実現性はある。一方で、12月に現地交流を予定しているが、感染症の状況により実施が難しい可能性もある。そうした場合の代替策や経費等の対応について事前に明確にしてほしい。
- ・都市圏からの参加者確保については、これまでのネットワークを活かした集客が期待できる。土佐町からも多くの参加が実現するよう、役場担当者と連携した取り組みを期待する。
- ・都市側参加者、土佐町側参加者双方について、対等なコミュニケーションや関係形成に繋がるよう、フォロー体制の更なる充実を期待したい。
- ・都市部の子どもを「お客さん」としてもなすのではなく、土佐町の子どもにとって意義のある取組としたい。都市と地方どちらが良いかということではなく、それぞれの特徴を持ち寄り、それぞれの良さを感じられる取組となることを期待する。
- ・「求める成果」として、都市部の子どもだけでなく、その保護者が「土佐町での学びの環境」に関心を持つことを挙げている。現地参加しない保護者も含めて、動画等を通じ本プログラムでの活動内容を周知していくことが必要。
- ・現地で万全の体制をとるには、土佐町役場側でのサポートも必要になると思う。役場関係部局としっかりと連携を取りながら取り組みを進めていくことで、より充実したプログラムとなる。